

シンポジウム

鑑定とは何か 江戸時代鑑定文化の再評価

センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫「書を極める―鑑定文化と古筆家の人々」

2022年5月14日(土)

13時30分―16時15分

慶應義塾大学三田キャンパス東館6階 G-Lab

登壇者 | 廣海伸彦 (出光美術館主任学芸員)

「狩野家の絵画鑑識―極(きわめ)の世界に偽許多く、疑ひの世界に真理多し」

中村健太郎 (帝京大学短期大学 人間文化学科講師)

「極札(きわめふだ)を極める」

佐々木孝浩 (慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授)

「「でたらめだ」なんていわないで：筆跡鑑定というお仕事」

司会 | 松谷芙美 (慶應義塾ミュージアム・commons専任講師)

予約方法 | 事前予約制 どなたでもご参加いただけます(先着順/参加無料)

<https://identifying-hands.peatix.com/>

主催 | 慶應義塾ミュージアム・commons 協力 | 慶應義塾附属研究所 斯道文庫



ご予約はこちら

- ・シンポジウムの参加者は、慶應義塾ミュージアム・commonsで開催中の展覧会(「書を極める―鑑定文化と古筆家の人々」)をご覧ください。
当日受付も可能ですが、確実な入館を希望される場合はご予約をお願いします。
- ・展覧会会場とシンポジウムの会場は異なりますのでご注意ください。

お問い合わせ

慶應義塾ミュージアム・commons

hello@kemco.keio.ac.jp

tel. 03-5427-2021